

第3回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：平成24年9月18日（金）午後2時00分～

場所：中井町役場 3階 3A会議室

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付（新任委員のみ）
- 3 協議事項
 - （1）平成24年度中井町地域公共交通会議予算（案）（資料1）
 - （2）平成24年度中井町地域公共交通体系再編計画業務委託について（資料2）
 - （3）新たな公共交通システム運行計画について（資料3）
- 4 その他
- 5 閉 会

【協議事項の議事概要】

- （1）平成24年度中井町地域公共交通会議予算（案）（資料1）

事務局より資料1の説明

岡村会長：資料1について、質問等ありますか。無いようでしたら、承認を頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

－ 承認 －

- （2）平成24年度中井町地域公共交通体系再編計画業務委託について（資料2）

事務局より資料2の説明

岡村会長：資料2について、質問等ありますか。無いようでしたら、承認を頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

－ 承認 －

- （3）新たな公共交通システム運行計画について（資料3）

事務局より資料3の説明

委 員：定員は10名ということでしょうか。キャンセルは何分前までですか。

事 務 局：定員は10名です。キャンセルについても予約時間同様、60分前までとします。

委 員：キャンセルは60分よりも少し早い方が空いたところに予約できるのではないかと。

会 長：そのような具体的な内容は今後、住民の方々にも説明していく必要があると思います。それぞれの地区で出る質問を共有できると良いと思います。

委 員：料金について、町内は200円という事ですが、場所によっては町内のバス停までデマンドシステムで行って路線バスに乗り換えると、バス同士を乗り継ぐより高くなってしまふ所があります。

事 務 局：デマンドシステムは、「バスよりも高くタクシーよりも安い乗り物」と言われています。バスの方が安いのであれば、バスを使っていただくのも良いと考えます。

会 長：「高すぎる」や「高くなってしまふ」という意見があれば、検証が必要だと思しますので、検証項目について、「乗り継ぎ」も入れてはどうでしょうか。

委 員：乗降ポイントは、もう少し整理をした方が良いのではないかと。近くに2箇所あるなど、多

すぎると思います。車両についてもせいぜい1～2人かと思うので、車両の定員を少なくしても良いと思います。

事務局：交通空白地域のカバーや町内の移動を考え、バス停が無かった所に乗降ポイントを設けました。近くに2箇所ある所については、高低差や形状などから歩いて行くのに大変な所を配慮して設置しました。

車両については、境地区の児童の通学もカバーでき、かつ、その際に住民も乗れるように今は10名となっています。

委員：乗降ポイント図の想定ルートを見ると、どういう順番で行くかわからないです。今回の計画が「町内」というコンセプトであることは分かりましたが、将来的には通勤・通学など、町外も考えるべきだと思います。

事務局：実証実験を通して、利便性を考えていきたいと思っています。

委員：何のための利便性かはっきりした方が良いと思います。小中学生の送迎にも使うのですか。

事務局：メインは交通空白地域の解消、高齢者等の移動手段の確保です。小中学生にも身近な交通手段として利用してもらえれば良いと思います。

委員：1日当たり利用者数推計が約40人と言うのは、交通空白地域での人数ですか。

事務局：昨年、無作為抽出した町民2,000人を対象に行ったアンケート結果から推計しています。特に、交通空白地域などの区別はしていません。

委員：路線バスについても見て考えないと、バスもデマンドも同じ所に行ってしまうのではないのでしょうか。町民にとって何が必要なのかきちんと調べないといけないと思います。

委員：運賃の支払いについて、周知方法と登録のスケジュールについて教えてください。

事務局：運賃は、運賃箱で対応します。車両の名前やラッピング等は今後、募集していきたいと思っています。登録については、事前説明会の段階から、行えるようにします。また、実証運行が始まってからでも登録はできます。

委員：近隣路線バスとかぶっている所もあるので、他の市町村に事前に話しておく必要があると思います。町外の4箇所の乗降ポイントの施設も事前に話しておいた方が良いと思います。

事務局：近隣市町村については、まだお話できていません。今後する予定です。施設については、説明済みです。

委員：路線バスにどれだけ影響が出るかはきちんと把握していただきたいです。

会長：4箇所以上増やすことについて、利用者の意見等を聞いて、調整していくことになるのだと思います。

委員：利用対象者は「制限がありません」となっているのならば、利用者登録する必要はないのではないのでしょうか。

事務局：予約する時には、登録が必要ですが、同じ所に行く同乗で「私と他〇名」と予約があった場合には、「他〇名」については、登録しなくていいです。

会長：乗降ポイントは、どれくらい数を置くか決まっているのですか。

事務局：多ければ多いほど良いと思っています。今回あげているのは、それぞれの乗降ポイントから半径300m以内に歩ける範囲で設置しました。ゴミ収集所は皆さん知っているし、ない所はないので玉城町のようにしました。

会長：乗降ポイントは「ここではなくても」という所を地域の方に考えてもらっていいのではないのでしょうか。行き先についても「こんな時（ここに行きたい時）は、こんな風に使うと

便利ですよ」という想定パターンで説明するとイメージが付きやすく良いと思います。行き先として考えられる乗降ポイントの設置理由はなんですか。

事務局：民間施設は、後々バス停に名前を付けて広告効果を出すマイバス停制度などの導入を検討したいと思い、入れていません。

会長：そのような考えがあるのなら、ぜひ住民説明の際に、医者や商店等、行き先に想定できるところには説明に行ってください。

事務局：既存のバス停や集落の中の交通空白地域、ゴミ収集所などの乗降ポイントについては、最終的に自治会等に参加して住民の方の意見も聞いて修正していきたいと思います。

委員：想定ルートについて、全部回るのは時間がかかるのではないのでしょうか。

事務局：全部回るのはなく、予約する方が最初の利用者の時間に合えば、後から予約した方も乗り合って、それらを通るルートを選んで行きます。

順風路：その都度、ルートを決めていくので、初めから決まってはいません。

委員：駅へ乗り継ぐならココと乗り換える場所は決めておいた方が良いのではないのでしょうか。

委員：そうすると料金についても考えなくてはいけなくなり、町外の話になるので、それは次の段階だと思います。

委員：町外の乗降ポイントが4箇所上がっているが、足柄上病院など他にも町民の行きたい所はあると思います。町外の乗降ポイントは増やした方が良いのではないのでしょうか。

事務局：昨年度のアンケート結果で、主な行き先としてあがっていた4箇所を設置しています。福祉有償運送では、足柄上病院も行っているので、使い分けて頂きたいと思います。

委員：補助金の話ですが、25年度のフィーダー交通の補助金で、スケジュールでは実証運行1年間となっていますが、実際には2つに分かれているという事でよいですね。システムをみるとどんどん予約が入れば、走りっぱなしになるようですが、運転手の休み時間はどうなっているのですか。

順風路：休み時間と場所を聞いておけば、その時間は考慮して予約をできるようになっています。

会長：運行主体の町としてどういう考え方でいくのかと言う事は、次回お示しいただくということによろしいですか。例えば、システムとして細かな設定をする際に、出来るだけ乗り合えるようにするとか、出来るだけ希望時間を優先させるとか細かな設定が必要だと思います。このような細かな事をお示し頂けますか。

事務局：次回、示します。

委員：スケジュールの中の今年度の3月にある「評価・検証」については、25年度の実証運行ありきで、考えていいのですか。

事務局：1・2月の実証運行を踏まえて、25年度の計画を立てます。そして、25年度の実証運行を踏まえて、26年度の計画を立てるので、3月の「評価・検証」については、25年度ありきで考えて頂きたいと思います。

会長：「評価・検証」というのであれば、何が良くて何が悪いのか決めておかなければいけないと思います。第4回の会議で「こんなところを検証する」という案を出すといいのではないのでしょうか。お願いします。

委員：評価・検証の対象は利用者ですか。

事務局：利用状況と利用者です。

委員：「こうだったら、利用したのに」という利用しなかった方の意見はどう拾うのでしょうか。

会長：そこが一番大事だと思います。移動に困っている方がどうして使わなかったのか把握していただきたいです。よろしくお願いします。

委員：ぜひ、成功してほしいと思います。そのためにも自家用車から乗り換えるという方も対象になると思いますので、自家用車のリスク等も住民説明会で説明すると良いと思います。

会長：警察からは、高齢者の免許返納サービスを行っています。将来自分で運転することに不安がる方等に、周知してほしいと思います。

「新たな公共交通システムの運行システム・サービスの検討項目」について承認を頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

－ 承認 －

事務局：次回の会議は12月中旬を予定しております。日程の詳細は後日ご連絡させていただきますので、よろしくお願い致します。以上を持ちまして、本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

○出席委員：中井町自治会連合会会長 小林 敏男
境地区バス利用対策委員長 桜井 岑生
公募委員 廣澤 瀧男
公募委員 原 礼子
東洋大学国際地域学部教授 岡村 敏之
関東運輸局神奈川運輸支局首席運輸企画専門官 中澤 延夫
神奈川県環境共生都市部交通企画課長 (代理) 久保田 貢
神奈川県西土木事務所長 河原 正幸
神奈川県松田警察署長 (代理) 橋本 和彦
神奈川バス協会常務理事 山崎 利通
神奈川中央交通(株)運輸計画部長 三木 健明
神奈川県タクシー協会小田原支部 鈴木 要
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 川上 一男
中井町副町長 早野 茂
中井町福祉課長 金子 豊
中井町まち整備課長 加藤 幸一郎
中井町教育課長 山本 清和
中井町老人クラブ連合会長 小清水 正臣
中井町社会福祉協議会長 植木 年男
中井町商工振興会長 加藤 正人
中井町PTA連絡会長 (代理) 戸村 裕司
グリーンテクなかい企業連絡協議会長 久保田 一宏

事務局：中井町3名

オブザーバー：順風路2名

傍聴人：6名